

保護林設定について（宮崎県日南市 割岩河内国有林）

平成 21 年度森林基礎調査等業務報告書（抜粋）

1 保護林設定（案）

(1) 保護林設定の目的及び特徴

【目的】

- ・我が国又は地域の自然を代表するものとして保護を必要とする植物群落及び歴史的、学術的価値等を有する個体の維持を図り、併せて森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的とした。

【特徴】

- ・対象地域は標高 226m～786mの斜面下部から斜面上部の森林が含まれる。
- ・林相は全体によく発達した暖温帯性の照葉樹林であり、イチイガシ、アカガシ、ウラジロガシなどのカシ類や、タブノキ、スダジイ、イスノキといった常緑広葉樹が高木層に優占する。
- ・四国と九州の限られた地域に分布し、環境省と宮崎県のレッドデータブックに記載されているハナガガシの生育が周辺地域で報告されている。
- ・イズセンリョウなどの低木種、キジノオシダなどのシダ植物、ツチトリモチなどの寄生植物、つる植物、着生植物など、暖温帯林の構成種が数多く生育しており、植物相は多様である。
- ・周辺地域の東側約 20km には日南海岸国定公園があり、ビロウなどの亜熱帯性植物群落の分布の北限に近い地域でもある。

(2) 保護林の気候・地形・地質

【気候】

- ・年間降水量：約 2400mm（対象地域より北西約 15km に位置する都城特別地域気象観測所の過去 10 年間のデータより）
- ・年平均気温：約 13～16℃（同観測所のデータより標高差を考慮して算出）  
年間を通じて温暖な気候である。降水量も比較的多く、特に夏から秋にかけては、台風の通過により大量の降雨が生じやすい。

【地形】

- ・対象地域の大部分は切り立った岩場に囲まれ、林内でも急峻な斜面が多い。また、等高線の間隔が狭く深い沢が比較的多く見られる。

【地質】

- ・対象地域は日向層群(四万十累層群古第三系)に分類され、砂岩及び泥岩が地質を構成する。
- ・褐色森林土が全域を覆っている。

### (3) 設定保護林種名及び妥当性

#### 【保護林種名】

- ・植物群落保護林（新設）

対象地域の植物群落は下記の植物群落保護林の設定基準に適合した群落であることから、「植物群落保護林」に指定することが適当である。その妥当性については以下に述べる。

#### 「植物群落保護林」の目的及び設定の基準（「植物群落保護林等保護林の設定要領」より引用）

##### 【目的】

植物群落保護林は、我が国又は地域の自然を代表するものとして保護を必要とする植物群落及び歴史的、学術的価値等を有する個体の維持を図り、併せて森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資することを目的とする。

##### 【設定の基準】

次に掲げる基準を満たすもののうち、特に保護を必要とする区域を植物群落保護林の候補地とするものとする。

- (1) 希少化している植物群落が存する地域
- (2) 全国的には比較的一般的な植物群落であるが、分布限界等に位置する植物群落が存する地域
- (3) 湿地、高山地等、特殊な立地条件の下に成立している植物群落が存する地域
- (4) 歴史的、学術的に価値の高いものとして伝承されてきた巨木等が存する地域
- (5) その他保護が必要と認められる植物群落及び個体が存する地域

##### 【妥当性】

- ・対象地域は、尾根から谷まで急峻な地形で常緑広葉樹林が広がっている。北部一帯にイスノキ・ウラジロガシ群集、高標高域にミヤマシキミ・アカガシ群集、南部一帯にルリミノキ・イチイガシ群集、尾根沿いにミミズバイ・スダジイ群集というように林相の違いがみられるが、いずれもヤブツバキクラス域自然植生に属する群集である。
- ・シイ・カシ類やホソバタブ、イスノキなどの常緑広葉樹種を中心とした種組成は極めて多様である。下層においても、極端なシカの食害などは生じておらず、アオキ、ルリミノキなどの低木種や、シダ植物を中心とした草本種が多くみられる。また、胸高直径が 100cm にも達するスダジイやカシ類などの大径木も存在し、よく発達した自然植生である。
- ・一般に、ヤブツバキクラス域の自然植生は、古くからの人間活動による断片化や消滅が進んでおり、当地域のようにまとまった面積の常緑広葉樹林は希少なものとなっている。
- ・これらの発達した常緑広葉樹林内では、四国と九州にのみ局地的に分布するハナガガシの個体が確認されたほか、ムギラン、フウランといった絶滅が危惧される着生ランや、ガンゼキラン、ナツエビネ、キリシマシャクジョウなどといった林床性の希少な植物の生育が報告されている。
- ・対象地域周辺は亜熱帯性植物の分布北限に近く、オオバヤドリギなどの特徴的な種も対象地域内に生育している。さらに、スジヒトツバ、アミシダ、リュウビンタイといった、南方系の植物種の生育も報告されている。

- ・以上に述べた、まとまった面積のヤブツバキクラス域自然植生としての希少性、多くの希少種等を含む群落全体の多様性の高さは、設定基準の(1)及び(5)に適合しており、当地域の植物群落保護林としての指定が適当である。

#### (4) 保護林の名称及び妥当性

##### 【名称（案）】

- ・割岩河内植物群落保護林

##### 【妥当性】

- ・対象地域は割岩河内国有林内に位置し、上記の名称が妥当である。

#### (5) 位置及び区域

##### 【位置】

- ・宮崎県日南市酒谷甲

##### 【区域】

- ・割岩河内国有林 39 林班へ小班、40 林班と小班  
保護林設定区域（案）を図 4-2-1 に示す。
- ・保護林拡大候補地：44 林班い小班、45 林班い小班、46 林班に・は・ろ小班的それぞれ一部

#### (6) 面積

130.93ha（保護林拡大候補地を除く）

#### (7) 小班別面積及び林況等

- ・割岩河内国有林 39 林班へ小班（41.52ha）

対象地域では広範囲にわたりスダジイ、マテバシイなどのシイ類が優占する常緑広葉樹林が発達している。高木層や亜高木層に達するタブノキやイスノキも多い。林床にはタイミンチバナやミヤマシキミなどの低木、オニカナワラビやイズセンリョウなどの草本植物が多く見られる。尾根付近では胸高直径が 80cm を越える巨木が比較的多い。対象地域南東側の斜面下部ではハナガガシの生育が確認された。

- ・割岩河内国有林 40 林班と小班（89.41ha）

対象地域の斜面下部はイチイガシやマテバシイなどの常緑広葉樹林が発達している。林床にはアオキやホソバタブなどの低木、カツモウイノデやサツマイナモリなどの草本植物が比較的多い。また、高木層に達したカラスザンショウなどの落葉広葉樹もまばらに見られる。斜面上部も同様に、常緑広葉樹林が大部分を占めるが、北西側の尾根の一部ではヒメシャラやアカシデといった

冷温帯性の落葉広葉樹も生育している。

・保護林拡大候補地

調査範囲外ではあるが、44 林班い小班、45 林班い小班、46 林班に・は・ろ小班のそれぞれ一部あるいは全域を保護林拡大候補地とする。保護林拡大候補地の概況は以下のとおりである。

○保護林拡大候補地の東側では林齢が 120 年を越える高齢の林分で、スダジイやイスノキなどといった常緑広葉樹が主に生育しており、調査範囲内の林分と類似した林相である。

(8) 保護林区域の妥当性

- ・対象地域は、低木層や草本層の一部に人為の影響が見られるものの、全体としては多様性の高いよく発達した自然植生である。
- ・対象地域の周辺部では、多くの林分がスギやヒノキの植林となっており、まとまった自然植生が残存する地域はほぼ対象地域内に限られている。
- ・対象地域は、尾根から谷に至る一連の地形を含んでおり、斜面位置に応じた林相の推移がみられる。したがって、多様性の高い植物群落の保全という観点から、対象地域内のすべての林分を保護林とすることが適当である。
- ・対象地域の東側は沢に接しており、沢を挟んだ斜面上に林道が存在する。沢から林道までの範囲の林分（大部分はよく発達した常緑広葉樹林である）をバッファーズーンの役割として、保護林拡大候補地とする。

(9) 植物相及びその特徴

- ・イスノキ-ウラジロガシ群集の構成種であるイスノキやホソバタブなどのほか、樹林性のモロコシソウ、カラタチバナが広範囲に生育する。
- ・ルリミノキ-イチイガシ群集を構成するイチイガシやバリバリノキ、ミミズバイ-スダジイ群集を構成するヤマビワやタブノキなどが生育しているほか、斜面上部の一部では、ミヤマシキミ-アカガシ群集が見られ、ヒメシャラやアカシデなどが見られる。
- ・対象地域の大部分は常緑広葉樹によって占められた植物相であるが、一部では落葉広葉樹が混生している。

#### (10) 動物相及びその特徴

- ・対象地域は全域を通じて常緑広葉樹林に覆われており、樹林性の動物種の生息に適した環境である。
- ・過去の自然環境保全基礎調査では、ニホンウサギ、ニホンジカなどの哺乳類、ヤマガラ、ホオジロ、エナガなどの鳥類、ミンミンゼミやネブトクワガタなどの昆虫類の生息が報告されている。
- ・対象地域の東側は沢となっており、ヤマアカガエルなどの水辺環境を好む動物種が生息している。

#### (11) 森林保全上の課題

##### ア. 保護に関する事項

- ・基本的に現状のままでよい。

##### イ. 管理に関する事項

- ・基本的に現状のままでよい。

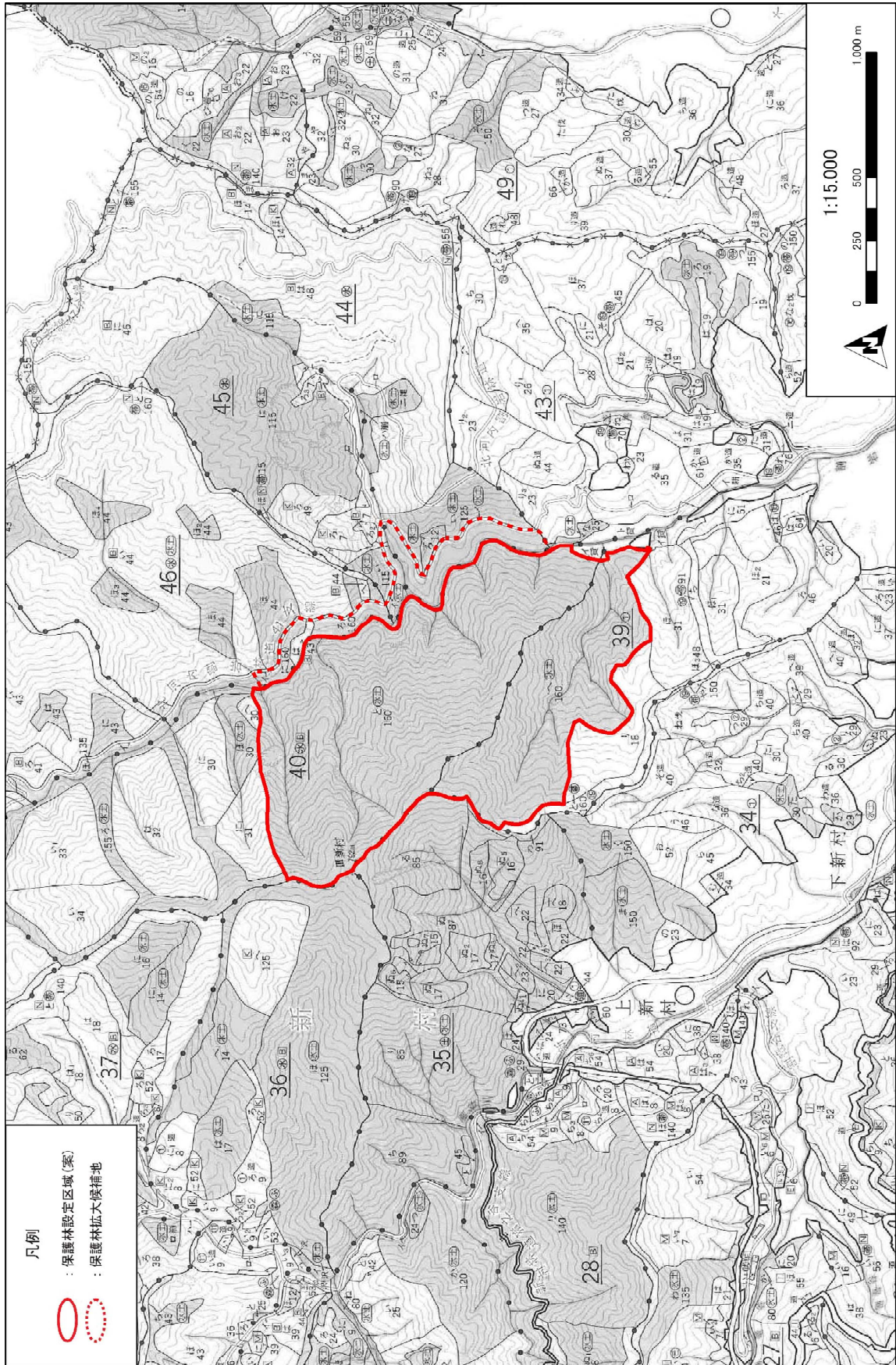


図 4-2-1 保護林設定区域(案) (新村地区)

